

205 イエスの復活(3)

番兵、報告する (マタイによる福音書 28 : 11~15)

マタイによる福音書 28 : 2 ~4

すると、大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石をわきへ転がし、その上に座ったのである。その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。番兵たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。(番兵たちは我に戻り、まずいと思わずに行動に移した。)

11 婦人たちが行き着かないうちに、数人の番兵は都に帰り、この出来事 (の一部始終) をすべて祭司長たちに報告した (→身の危険を感じた番兵たちは、祭司長たちなら、何とかしてくれると考え、上官に報告していない)。

→番兵たち (→通常であれば、4人一組で二組が配置されていた) には、ローマの上官に報告義務があり、自分たちの過ちがピラトの耳に入ったら、責任を取らされ、死刑になることが分かっていた。墓の見張り、命がけの職務だった。→使徒言行録 12 : 18~19

→使徒言行録 12 : 18~19 (ペトロ、牢から救い出される)

夜が明けると、兵士たちの間で、ペトロはいったいどうなったのだろうと、大騒ぎになった。

ヘロデ (=ヘロデ・アンティパス) はペトロを捜しても見つからないので、番兵たちを取り調べたうえで死刑にするように命じ、ユダヤからカイサリアに下って、そこに滞在していた。

12 そこで、祭司長たちは長老たちと集まって相談 (→非公式の会議) し、兵士たちに多額の金を与えて、13 (番兵たちを買収し、こう) 言った。

『弟子たちが夜中にやって来て、我々の寝ている間に死体を盗んで行った』と言いなさい。14 もしこのことが総督の耳に入っても、(賄賂を贈って) うまく (あのポンティオ・ピラト) 総督を説得して、あなたがたには心配をかけないようにしよう。(と、番兵たちを安心させた。)

→ピラトの官邸は、カイサリアにあった。

15 (そこで、) 兵士たちは金を受け取って、教えられたとおりにした。

この話は、今日 (→マタイがこの福音書を書いている時点) に至るまでユダヤ人の間に広まって (今でもそう信じられて) いる。

→番兵たちは、祭司長たちや長老たちの指図に同意した。なぜなら、多額の金が手に入るし、安全も保障されているので、正直に上官に真実を報告し、死刑になるよりも、はるかに得策であったからである。

→祭司長たちや長老たちがイエスの復活を拒否した理由は、番兵たちの証言を取り入れることで、イエスが死から復活したと言う、超自然的な出来事 (要素) を否定でき、弟子たちがイエスの遺体を墓から出し、持ち去ったとすることで、事実 (イエスの復活という奇跡) をもみ消すことが出来たからである。



【参考】ヨナのしるし／三日三晩／復活

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 3 / 聖句等の総数 33250 <ヨナのしるし>3個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: ヨナのしるし]
S マタイによる福音書	12:39 イエスはお答えになった。「よこしまで神に背いた時代の者たちはしるしを欲しがすが、預言者ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない。」	
S マタイによる福音書	16:4 よこしまで神に背いた時代の者たちはしるしを欲しがすが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない。」そして、イエスは彼らを後に残して立ち去られた。	
S ルカによる福音書	11:29 群衆の数がますます増えてきたので、イエスは話し始められた。「今の時代の者たちはよこしまだ。しるしを欲しがすが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない。」	

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 <三日三晩>3個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 三日三晩]
K ヨナ書	2:1 さて、主は巨大な魚に命じて、ヨナを呑み込ませられた。ヨナは三日三晩魚の腹の中にいた。	
S マタイによる福音書	12:40 つまり、ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、大地の中になることになる。	

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 9 / 聖句等の総数 33250 <三日目に>9個<復活>9個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 三日目に・復活]
S マタイによる福音書	16:21 このときから、イエスは、御自分が必ずエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。	
S マタイによる福音書	17:23 そして殺されるが、三日目に復活する。」弟子たちは非常に悲しんだ。	
S マタイによる福音書	20:19 異邦人に引き渡す。人の子を侮辱し、鞭打ち、十字架につけるためである。そして、人の子は三日目に復活する。」	
S ルカによる福音書	9:22 次のように言われた。「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」	
S ルカによる福音書	18:33 彼らは人の子を、鞭打ってから殺す。そして、人の子は三日目に復活する。」	
S ルカによる福音書	24:7 人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」	
S ルカによる福音書	24:46 言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。』	
S 使徒言行録	10:40 神はこのイエスを三日目に復活させ、人々の前に現してくださいました。	
S コリント信徒への手紙 I	15:4 葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、	

イエスは「ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、大地の中になる」（マタイ 12:40）、これが律法学者とファリサイ派の人々に与えられる唯一のしるしだと言われました。ヨナが三日三晩、大魚の腹にいてそこから吐き出された（ヨナ書 2:11）ように、人の子イエスも、同様に三日三晩、死んで大地の中において、三日目に復活する、これが「しるし」だと言われたのです。死んで、生き返るというしるし、これが「ヨナのしるし」と言われるものなのです。